

第2回 タウンミーティング（地域自治会意見交換会議）議事要旨（北山田、西山田、山三、山五地域）

開催日時：平成29年6月12日（月）午後3時～ 場所：夢つながり未来館 参加人数：38人

地域	No.	事前の住民意見	当日の住民意見・市の回答
北山田	1	“ららぽーと”・“吹田スタジアム”の開場により、北山田の住環境は大きく変化し、特に治安が悪化しつつある。現在、山田地域には二か所の交番が設置されているが、吹田警察が公表する犯罪件数は確実に増加しており、市内で三番目に多い地域となっている。大阪府警察施設類型別計画によれば、交番の新設は行わないとなっているが、現状を鑑みると看過できない問題だと考える。阪急山田駅周辺等への交番新設について考えていただけないか。（※同意見あり他3件）	（市長回答） 市の北部に警察力が不足しているということで、「第2警察」の話が10年くらい前から出ている、豊中市の例なども調べたが、今ある警察署が二つに分けられるだけで、警察力は向上しない。市内に管轄の境界線ができてタライ回しの原因にもなる。
	2	府道箕面摂津線のコーナン南～ヤマト運輸西側間130mの区間で一部狭路の部分があり、万博公園等の祭事後に交通渋滞が発生している。拡幅計画が始まってから10数年が経過するが、自営業者の立ち退き等の問題もあり進展していない。なぜ、このように遅れているのか事情を調べて教えていただけないか。	（土木部長回答） 担当の大阪府茨木土木事務所によると、任意の用地買収なので地権者との交渉に時間を要しているとのこと。 （市長より） メドはいつ頃か。 （土木部長回答） 明確には答えてもらえなかったが、一生懸命進めておられる。 （市民） あの場所には戸建てが数軒あったが、「ここで商売を続けたい」という家もある。残地で店が続けられれば良いのだが、立ち退き後は公葬になるので、それもできないようだ。 （市長） 道路を整備して通りやすくなれば、かえって交通量が増えるということもある。
	3	旧中央環状線の新八王子橋の歩道設置の要請が進展せず、解決の見通しが立たないのが現状である。市として、どのように対処するか説明をお願いする。	（土木部長回答） 解決の見通しは、まだ立っていない。管理しているのは府だが、市と府で垣根を越えて共同歩調で進めている。先日も打ち合わせを行ったところで、市としてしっかりコミットメントして、この場限りの回答ではなく、しっかり協議して行く。 （市長回答） ボトルネックの改善は、都市計画道路などよりも優先して進めて行く。茨木土木も本気で前向きにやっている。そう遠くない将来には変わるだろう。
	4	市内の地域災害対策本部のうち、地区集会所が指定されているものは北山田地区集会所のみである。対策本部は「地域の被災状況や避難状況などを集約し、校区防災委員に伝達し、市から届く支援物資や情報などを地域に伝達する」役割を担うことになっているが、大地震発生時にはその役割の範囲を大きく超えると予想される。以上から、地域における災害対策の実務の体制と、果たすべき役割及び実践の限界について見直す必要があると考える。 そこで、市民部と危機管理室とが調整し、地域災害対策本部の具体的な設置・運営等の基準案の提示を希望する。	（市長回答） 大規模災害時には市職員も半数以上は被災者となり、発生から2～3日の間は、皆さんの所には行政の手は届かない。食糧、水などは各家庭で用意しておいていただきたい。また、大学などもふくめた大きな公的機関のある場所に災害対策本部を立ち上げる。吹田市全体が一様に被害を受けることは限らないので、被害を受けていない地域が、被害を受けた地域をサポートすることも可能である。 （市民意見） 北山田は半分がマンション、半分が戸建てで、それぞれ対策も異なる。防災訓練の時に、テーマとなる重要なことを、市の方からもっと踏み込んで言っていただきたい。 （市長） それぞれの地域の特徴に合った訓練を行っていただきたい。独居の高齢者を背負って降ろす訓練を行っているところもある。
西山田	5	西山田では、これまでコミュニティ活動や福祉活動を行ってきた地区集会所の存続問題などを抱えている。今後、行政と住民とが協働で地域の諸課題にあたらないといけないことは明白である。住民が問題解決に向けたコミュニティ活動や福祉活動をするための場所の提供をお願いしたい。	（市長回答） ご希望はお聞きした。今、集会所があるからということではなく、このご希望が、どう理屈に沿っているか、なぜ必要なのか、どういう効果があるのか、それらを精査してから、お答えすることになる。
山三	6	今後、地域の人口が急増する可能性がある。場所によっては歩道がなく幅員も狭い道があり、通学路は自動車交通量が増え、児童の安全が確保されない。もし無人化している郵政社宅が売却されて新しい建物ができれば、地域の生活の利便性や安全性が損なわれる。市は新たな建設を承認する場合、セットバックの条件を付すようにするとともに、現状の確認を早くしてほしい。	（土木部長回答） 都市計画法上の開発は一定の道路幅員がないと出来ない。4m以上、またはもっと広がるようセットバックしていただくが、どの範囲までになるのかは開発計画全体から決まる。 （市長） 現在の幅員は違法なのか。 （土木部長） 4m以上なければ違法である。 （市民意見） 子どもの通学路なのに歩く場所が途中からなく、そこから道路を横切るようになっていのに、規定をクリアしていれば適法というのは無責任だと思う。一度、現場を見て現状を認識していただきたい。 （市長） 4m道路という基準が出来た当時と今では、クルマの大きさも違うので、全国的に基準を変える必要があるのかも知れない。政策の順番から言うと、道路の拡幅については狭い道路の多い地域が優先になる。
	7	少子化で児童数が減少している。山田第三小学校に近隣の山田第五小学校を統合するような計画はあるのか。	（市民意見） 山五小を残し、南山田小、山三小、それに西山田小も加えて、自由に選べるようにならないだろうか。 （市民意見） 特区になれば、「選ばれる学校」になるようがんばってもらえると思う。山五も「選ばれる地域」になれるように、行政にもいい方法を考えていただければ。 （市長回答） 特区になり、校区がなくなると、校区でまとまっている団体やイベントが全てなくなるわけで、ガラガラッと全部が変わってしまうのが怖いところだ。しかし、「地域の小学校」と言うが、小学校の主役は生徒である。教育委員会も、「小規模校も大規模校もそれぞれよい所はある」と言っている。規模の違う学校を認めているのだから、特徴を出して地域間の差別化をはかるのもありだと思える。北千里小の時は、職員は大変な目にあい、いまだに心の傷となっている。地域から上がって来るのでなければ、校区変更はすべきでないと考える。
	8	当地区には築40年を超える集合住宅が増えている。建物管理は丁寧に行われているが、現在の耐震基準には合わず、問題がある建物が多い。市はこの問題を把握しているのか。	（市長回答） 議会でも指摘されているが、民間の建物なので市税を投入するわけにもいかない。何年の築なのかしっかり把握して、基準についての知識をしっかりと持っていたらいいと思う。管理組合がしっかりしている所は、ちゃんと積立などをしているようだ。

第2回 タウンミーティング（地域自治会意見交換会議）議事要旨（北山田、西山田、山三、山五地域）

開催日時：平成29年6月12日（月）午後3時～ 場所：夢つながり未来館 参加人数：38人

地域	No.	事前の住民意見	当日の住民意見・市の回答
山三	9	今回の地域自治会意見交換会議では10ブロックに地域を分けているが、他の様々な団体のブロック割との整合性にご配慮いただきたいと思う。各団体とのスムーズな連絡調整が行え、住民にも吹田市にも大きなメリットがあると思う。	<p>（市長回答） 基本は34ブロックである。34の地域ごとに行くことにすると頻度が落ちるので、3つか4つの連合自治会に集まっていただくということで10ブロックとしたが、このブロック割りで線を引くつもりはない。</p> <p>（市民意見） 福祉の活動など、同じブロック分けでやっている方がまとまりやすいという実感がある。</p> <p>（市長） 市政でも、近隣市とは三島、豊能などの地区割り、あるいは府県にも関係なく連携している。市内の地域も、ブロックでカチカチに固めたくはないと思っている。行政主導のピラミッド型組織ではなく、地域でやりやすいようにやっていただくのが良いと思う。</p>
	10		<p>（市民意見） 事前に提出した意見をコンパクトにまとめていただいている。ニュアンス的なものもふくめて7～8割は生かされているが、今後は丸まったものではなく、そのものを出していただいた方がよいのではと思う。</p> <p>（市長回答） 一番良いのはface to faceだと思う。前回の会議では36もの意見があったので、どういう形にするか議論があった。</p>
	11		<p>（市民意見） 月曜日のこの時間では、若い人などはよほど時間に余裕のある人しか来れないので、限られた人の意見になってしまうと思う。職員の方々は代休を取るなどして土日に行い、もっと地域に入って来ていただきたい。</p> <p>（市長回答） 事業の説明会などでは、平日、休日、昼、夜にそれぞれ行って、説明責任を果たしたが、34地域でそれをやるのも大変。地域の若い人の意見を聞いて来ていただき、個人の意見と合わせて、地域の意見として代弁していただければと思う。そういう意味では、今日ここに来られている皆さんの責任は重いと言える。</p>
	12		<p>（市民意見） 西山田で地域活動をしている。行政から網を掛けてもらうのではなく、行政の知恵と力を貸していただいて、協働のまちづくりを実現するのが夢だ。市長にも期待している。</p> <p>（市長回答） 協働という言葉はブームになったが、各地域の課題に向き合うと「あちらを立てればこちらが立たない」となり矛盾するので、対話を重ねて信頼関係を築く必要がある。独自に活動し、行政と関わって地域を支えている人を支えるのが行政の役割と考える。</p>
	13		<p>（市民意見） 昔、行政とやり取りをする際には、「対決姿勢」と言うの大げさだが、話が通じないことが多く、じれったい思いをした。「協働」ということで言うと、私たちに情報は足りず、行政への信頼感が足りなかった。職員の方も、たいていは怖がって市民の方へ出て来られなかった。私たちが、皆さんを痛めつけるような発言をしたからか、と反省している。</p> <p>（市長回答） 市役所にはものすごく多くの情報が集まるが、一元管理できていない。情報発信を事業として行いたいと考えている。信頼関係の不足ということでは、吹田市は市民の方々のレベルが高いので、職員を「育てる」という目で見ていただければと思う。「分からないから教えてください」ということが言えない職員を変えていかなければと思う。</p>
	14		<p>（市民意見） 以前に同じマンションの女性が無謀運転のクルマに轢き殺された事故がきっかけで、通学児童の見守りを続けている。すでにある信号の間隔が狭いので難しいかも知れないが、三叉路に信号を設置してほしいという希望がある。横断歩道の一時停止も守られない。高校生の自転車のマナーも悪く、高校に言ってもダメなので教育委員会に言おうかと思うのだが、府になるのか、行政に後方支援をしていただきたいと思う。また、他でやっていることの成果などの情報も得られたらと思う。</p> <p>（市長回答） 横断歩道や信号の設置は警察に要望している。信号の間隔を短くすると事故が増えるということはある。吹田警察の署長が交通の専門家で、よくコミュニケーションをとっているので、設置されない理由を聞いておく。高校生の自転車のマナーについても、公立高校に言い続けている。彼らは運動神経がいいので案外事故は起こさないが、そばを歩いている人が怖い思いをする。情報については、警察の方の事情もあり、お伝えをする機能が整っていないのが現状である。</p>